

平成25年6月10日号 (第126回)

阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、
患者の皆様とともに生命と健康を考える医療を実践します。

今年の梅雨入りは、平年より10日も早かったそうですが、
雨が降らずに、水不足が心配されています。



今回の阿伎留通信は

「応急手当1～こんなときどうするの??～」について、

救急科 堀医師よりお話をさせていただきます。

「応急手当1～こんなときどうする??～」

普段生活をしていて怪我をしたときに、どうしたらいいか困ったことはありませんか。

病院を受診する必要があるか困ったことはありませんか。

救急外来でよく遭遇する“こんな時どうする?”という疑問にほんの一部ですが答えたいと思います。

応急手当の前に感染防御について

私たちの体から出る汗や唾液、怪我をした時に出る血液を介してウイルスなどが感染する可能性があります。そこで自分が感染しない、人へ感染させないために感染防御が必要となります。具体的には、体液や血液に触れないように手袋やエプロンをすること、目に入らないようにゴーグルをすることなどがあります。



最も大事かつ簡単なことは手洗いです。手洗いは応急手当の前後で必ず行いましょう。

1. 頭をぶつけた!!

頭をぶつけた際にはまず意識の反応を見ることが重要です。

意識がはっきりしている場合には、まずは座らせて楽な姿勢をとってあげ、
頭を冷やしてあげます。



様子を見て以下の状態がないか観察しましょう。

- ・意識が完全に回復しない。だんだん意識が悪くなる。
- ・頭痛がひどくなっている。耐えられないくらい痛みがある。
- ・麻痺が出てきて動けない。頻回の嘔吐がある。
- ・鼻や耳から透明の液体が出てくる。

このような症状がみられた場合には、すぐに医療機関を受診する必要があります。

2. 指を切った！！

まずは血が止まっていることを確認。

血が止まっていればあわてずに傷を、水道水でやさしく洗いましょう。

血が止まっていない場合は、清潔なガーゼや布で圧迫します（ほとんどの出血はこれで止まるはずです）。



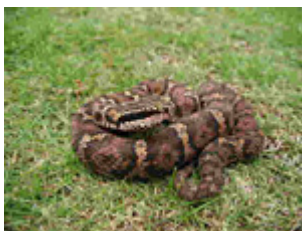
それでも止まらない場合や大量に出血している場合は、すぐに救急車を呼びましょう。

3. 蛇に噛まれた！！

今回はへびを取り上げます。多くのへびは毒蛇ではないので落ち着いて対処して平気です。

へびに噛まれた時もまずは、水道水で傷口を洗って下さい(余裕があれば腕を軽く縛りながら)。毒を口で吸い出すようなことはしないでください。逆に毒を飲み込む可能性もありますし、意味がないと言われていています。腫れ・痛みがひどい場合や出血を伴っている時は、かならず医療機関を受診して下さい。受診しない場合でも時間が経ってから腫れや出血を伴うことがありますので、その際は受診する必要があります。

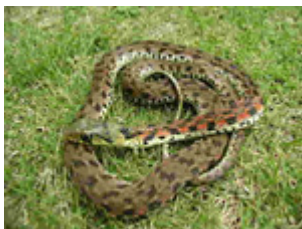
以下は全てまむしです。



以下はヤマカガシです。



以下はアオダイショウです。



※ジャパンスネークセンターHP (<http://www.snake-center.com/>) より抜粋

阿伎留通信については、第1回から最新号まで、公立阿伎留医療センターのホームページで御覧にすることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)